

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日：2011年6月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	商学部／商学科／グローバルビジネス専攻
留学先国	カナダ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	アルバータ大学 University of Alberta
留学期間	2010年9月～2011年4月
留学した時の学年	4年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生 (留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	経済学部／Faculty of Business <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2011年4月30日
明治大学卒業予定年	2011年9月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期：9 月上旬～12 月下旬 2 学期：1 月上旬～4 月下旬 3 学期： (記入例/1 学期：4 月上旬～7 月下旬, 2 学期：9 月中旬～2 月上旬)
学生数	37,000 人
創立年	1908 年

留学費用項目	現地通貨 (カナダドル)	円	備考
授業料	無	無	
宿舍費	\$450×8	¥40,500×8	\$1=¥90 換算 (以下同様)
食費	\$300×8	¥27,000×8	80%自炊
図書費	\$250×2	¥22,500×2	教科書一冊¥10,000 前後
学用品費	\$50	¥4,500	
教養娯楽費	\$100	¥9,000	CDのみ
被服費	\$300	¥27,000	
医療費	無	無	
保険費	\$38×8	¥3420×8	形態：UAHIP
渡航旅費	\$2,000	¥180,000	渡航前に往復で購入
雑費	\$200×8	¥18,000×8	パーティー等
その他	\$80×2	¥7,200×2	バス定期
その他	\$1800	¥162,000	旅費 (3回)
その他			
<b>合計</b>	<b>\$12,814</b>	<b>¥1,153,260</b>	



## 進路について

### 1) 進路

就職      進学      未定      その他：

### 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

特になし

### 3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

豊田通商：総合商社の中で成長期に属するまだ未完成の商社だから。これから拡大を続ける分野に自分のやりたいことが含まれており、そこに大学で学んだことと留学で得た英語力等が活かせる環境があると考えたから。

### 4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。

(例：留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

やはり4月からの就職活動には不安があり、リスクは高いです。しかし留学で得られるものは、就職活動の不安をはるかに超えます。一生の財産になります。

震災の影響もありましたが、私自身留学の経験を武器に就活した結果、納得のできる企業に就職することができました。現在では大手の夏採用や5月からでも受けられる企業が少なからずあります。留学の期間を無駄にしなければ、必ず自信がつき、就職活動に有利に働くはずですよ。いくら留学生が増えたと言っても、依然少数派で、グローバルに戦わなければいけない日本の企業群からしてみれば興味の沸く学生です。留学中私が唯一後悔したことは、留学中にSPIなどに手をつけなかったことです。これは絶対やったほうがいいです。帰国後はすぐにエントリーシートを書くと思いますが、SPIをやっておけばその分エントリーシートに時間が使えます。留学して英語以外に何かを得た学生は、就職活動ではかなり有利だと感じました。

### 5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

### 6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。

### 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）	
1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計
12単位	単位
2) 単位認定や卒業要件について、明治大学への要望があればお書き下さい。 時間数などで単位振替が認められないなどは、授業の内容をもっと見て判断してほしいです。 レベルの低い授業ならまだしも、せっかく高レベルの授業を受けて単位を得たのに、それが振り替えられないというのは正直ショックでもあり、時間を無駄にしたように感じます。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Natural Resource Economics	天然資源経済学
科目設置学部・研究科	Agricultural and Resource Economics
履修期間	9月～12月（Fall Term）
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	Adamowicz, Wiktor
授業内容	産油国であるカナダが抱える水の問題や、上流と下流の地域で水道料金の体系が異なり、どれが最適であるかを経済学の視点から計算する。また、森林のカーボンオフセットや政策による水産物の収穫最適地などをグラフや公式から求める。環境問題を経済学の原理によって見極めようとする非常に面白い授業。講義内容は非常に高く、経済学の知識と環境問題への意識が必要である。
試験・課題など	中間テスト：一回 期末テスト：一回 課題：4回（内、高得点の3つが評価に反映される） レポート：2枚（選択肢の中から興味あるテーマを選び、本・雑誌・論文から自分の観点を支える引用を必ず使用する）
感想を自由記入	講義内容が非常に充実しており、環境問題が経済と密接につながることを学べた一番満足いく授業。レベルの高い授業だけあって難しく、課題も多かった。しかし、海外の大学で「学ぶ」ということがどういうものかを感じられた。

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
International Relations		国際関係論	
<b>科目設置学部・研究科</b>	Political Science		
<b>履修期間</b>	9月～4月（Full year）		
<b>単位数</b>	6		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に50分が3回		
<b>担当教授</b>	Treiberg, Natasja		
<b>授業内容</b>	基本的な政治思想から入り、現代のテロリズムやグリーン団体など、国際関係を考える中で外せない思想を延々と学んだ。アメリカのポップカルチャーの持つ影響力にも触れた。		
<b>試験・課題など</b>	中間テスト：一回（秋学期の最後） 期末テスト：一回（冬学期の最後） 課題：5ページ前後の論文2回（秋・冬それぞれ一回ずつ） 10ページの論文2回（秋・冬それぞれ一回ずつ）		
<b>感想を自由記入</b>	とにかく論文を書くのが大変でした。テーマも授業で取り扱った政治関係なので、資料集めに非常に苦労したの覚えています。一日6・7時間は平気で図書館に籠り、本を読んでは論文を書き続けるのを10日間はやりました。テストも記述が2題だされ、それぞれ4ページで電子辞書を使ってはいけなかったのが本当に苦労しました。授業の内容自体は難しくなく、どちらかと言うとちょっとつまらなかったです。ただ、めちゃくちゃいっぱい書いたので、その点では英語漬けになれました。		

<b>履修した授業科目名（留学先大学言語）：</b>		<b>履修した授業科目名（日本語）：</b>	
The Early Modern World		近現代史	
<b>科目設置学部・研究科</b>	History		
<b>履修期間</b>	9月～12月		
<b>単位数</b>	3		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
<b>授業形態</b>	講義（チュートリアル、講義形式等）		
<b>授業時間数</b>	1週間に80分が2回		
<b>担当教授</b>	Polushin, Michael		
<b>授業内容</b>	近現代あたりの世界史をやります。日本も取り上げられ、徳川幕府のことを学びます。他には中国の清やスペインも同じ時代をやります。		
<b>試験・課題など</b>	中間テスト：2回 期末テスト：2回		
<b>感想を自由記入</b>	この授業はつまらないだけでなく、読まされる量が異常に多いです。単語が固有名詞ばかりで、読むだけなのに本当に時間かかりました。提出するレポートは、事細かに書き方を指定され（口頭のみ）、理解できないとレポートすら書けません。ネイティブの友人からも、この授業は大変な部類に入ると言われ、私は秋学期にこれ意外に二つ重い授業を取っていたのでこの授業の単位は潔くよく諦めました。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Linguistic Analysis		言語学	
科目設置学部・研究科	Linguistic		
履修期間	1月から4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Dilts, Philip		
授業内容	英語を基本に、音の作り方や地域による発音・発生の違いを分析。先住民族の言語を使って、意味の解読に必要なキーを見つけ出したりすることも習う。音の分節の見つけ方など、言葉を作る要素を見つたす方法も習う。		
試験・課題など	中間テスト：2回 期末テスト：1回		
感想を自由記入	英語の成り立ちに興味がある人なら楽しい授業。非常に優しいクラスで、頭を使うこともほとんどない。強いて言うならば、言語学特有の英単語が聞き慣れないくらい。テストも留学生に考慮してくれて、英語以外の言語で問題を作ってくれるというとてもフェアな授業。そして先生が日本語を少し話すので、すごい親近感沸きます。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
Sociology		社会学	
科目設置学部・研究科	Sociology		
履修期間	1月～4月		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）		
授業形態	講義（チュートリアル，講義形式等）		
授業時間数	1週間に50分が3回		
担当教授	Shareef, Shawkat		
授業内容	社会がどのように作られるのか、その概念を生みだした学者と彼らの思想について触れます。		
試験・課題など	中間テスト：2回 期末テスト：1回		
感想を自由記入	簡単で教科書読めばテストも余裕な授業です。マルクスやマックス・ウェーバーの思想を知っていればその復習程度です。ただ、教授がインド人で、癖のある英語を話すので、ちょっと聞きづらい人もいるかも。個人的にはそこまでひどいというわけではなかったです。私にとっては、最後の期末のテストが帰国フライトと被って単位もらえなかった授業。		

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2009年 1月～3月	
4月～7月	TOEFL iBT 84点 取得 TOEIC 820点 取得
8月～9月	
10月～12月	留学費用のため毎日アルバイト 交換留学へ応募
2010年 1月～3月	留学費用のため毎日アルバイト 交換留学生選考面接 合格通知頂く
4月～7月	留学費用のため毎日アルバイト
8月～9月	留学費用のため毎日アルバイト カナダへ渡航
10月～12月	レポートやテストに追われる パーティーでストレス発散